

令和6年度 学校運営協議会（第2回）議事録

- 1 日 時 令和6年11月22日（金） 14:15～15:20
- 2 場 所 本校 会議室
- 3 参加者 協議会委員：地域住民、学識経験者等6名
本校教職員：校長、教頭、事務長、首席、教務部主任、保健主事

4 内 容

(1) 委員長挨拶

中学校の方でもいよいよ入試ということで、様々な進路の検討の対策会議がある。十数年前はたくさん子どもたちが美原高校を受験しており、安心して送りだせていた。今回の対策会議で懐かしく思っている。近隣に公立の高校が少なく、子どもたちが行ける範囲が限られてしまった。安心して行かせていた学校が選べないというのは、すごく寂しいなというふうに思っている。

また、この夏に美原高校の体育館をお借りした。バスケットボール部やバレー部などの練習をさせていただいた。先生や生徒は暑く、バテた状態で練習を行うのとはやはり違うなと感じ、とても喜んでいた。

美原高校は本当に近くの学校で兄弟校のようなイメージでいる。

その学校がこの先選べなくなるというのはすごく寂しい限りだが、素晴らしい学校の運営についての協議会ということで、資料などを出していただいているので、様々な意見を出していただいて、運営に役立てていただけたらなと思っている。

(2) 校長挨拶

第2回の運営協議会で5ヶ月ぶりということになるので、まずはこの間の状況の報告をさせていただきたい。

前回の運営協議会は6月25日に行い、その後1学期期末考査を行った。夏休み後は3年生は進路への取り組みが本格化していった。その中で最初にスタートするのが就職で、昨年度は学校斡旋の一次内定率は82.9%だったが、今年は87.5%ということで上がった。他に進路の取り組みとして2年生対象であれば、昨日の美原文化会館で進路ガイダンスがあった。第一部は奨学金の説明会、第2部は大学、専門学校、企業の説明会でどちらも保護者の方も来ていただけるもので、生徒だけではなくて保護者の方にもいろいろ聞いていただくという機会を設定させていただいた。また夏休み明け早々9月に基礎学力テストを行った。今年は先生方の協力で朝学習を行っている。その成果もあって、2年生は昨年度の2年生よりも偏差値が4.5上がった。3年生に関しても、1.1上がっている。

また、授業においては授業改善PTも積極的に取り組んでいただいている。授業アンケートが1学期あったが全体で言うと昨年平均が3.50だったが、今年は3.54と上がった。

教諭の先生方だけで見ると、昨年3.55が今年3.63と上がった。

ちなみに、全部満点が4点ということなので本当にこの数字はすごいと思う。

おそらく、大阪府下のどこの学校をとってもほどこにも負けないのではないかと、というぐらいの非常に高い数字である。生徒たちの授業に対する満足度も非常に高いというふうに考えている。また2学期中間考査後、修学旅行で10月16日から19日まで、2年生が鹿児島に3泊4日で行っている。天気の方は、少し雨が降るときもあったが、全体的には恵まれ、非常に良い修学旅行となった。11月2日に文化祭もあり、5クラスが前半と後半に分かれて、前半は教室を中心に喫茶店やゲームセンターを作ったりして、後半は体育館での発表を行った。多くの生徒が様々なところに関わるということで、生徒たちも先生方も一生懸命頑張った文化祭という印象で、すごく良い取り組みとなったと思う。

また引き続き美原高校に本当に入学してよかったなというふうに思ってもらえるような充実した取り組みを、この後も続けていきたい。

本日この後閉校に向けた取り組みや学校教育自己診断についてなど、各分掌からの報告などあるが、様々なご意見をいただければと思う。

(3) 議 事

◆ 閉校に向けた取り組みについて

1 メモリアルHPについて

メモリアルホームページを作成予定で、業者さんと打ち合わせしながら写真等も撮りに来てもらい、進めている。閉校準備委員会でも協議し、様々な学校のメモリアルホームページを参考にさせてもらい大正高校さんのホームページをベースに、それを作った方に依頼して今進めている。まだ中身はまだ埋まっていないがこういった形で作っていつもらっている状況。先日の文化祭でも実際に様々な写真を撮っていただき、一部そのときの写真もすでに載っている。校内で検討して修正しながら作っていきたいと思う。制服を入れたり、石碑を入れたりしている。

2 学校見学について

50周年記念祝賀会の午前中に実施するところで進めている。まだ時間など詳細は決まってない。卒業された皆さんに来ていただき、校内自由に見学していただけたらなというところで進めている。問い合わせも多いので、食堂さんとも交渉してその日は開けていただけるといいようにしたい。懐かしんでいただけるといい会にしたいと思っている。

3 閉校式について

令和7年度の3月の卒業式後に実施予定。式としては20分～30分くらいになると思われる。美原高校のお世話になった様々な方々に案内状をお送りして卒業生を送り出すとともに、最後に閉校式をしたいと考えている。

4 創立50周年記念祝賀会

今、帝国ホテルの方を押さえている。令和8年の2月14日の夕方頃より実施したいと思っている。いくらかの費用も取らせていただいて、懐かしい人たちが集まって、たくさん話ができるような場にできたらなということで進めている。

全体の人数が全く今わからないことから、この秋に同窓会の方と旧職員の方で参加の意思があるかというのをできる範囲でメールや手紙を送って確認したところ、200名以上は参加の意向があるようだ。

5 閉校記念誌

記念誌は現在作成中。現在できているところのPDFが届いた。原稿を随時更新して作ってもら

っている。卒業アルバムの内容のデータも入れてもらっている。

原稿いただいている期はすでに文章も入っている。

6 大塚高校に設置予定の記念碑・記念室に保存するもの

大塚高校に美原高校から持っていくものとして校訓の石碑を持っていくということで進めている。大塚高校の中庭の食堂前の非常にいい場所に設置いただけるということで聞いている。

また、記念室もご用意いただけるということで、こちらには校旗や制服・トロフィーや賞状などの頂いたものを持っていかせていただいて、そちらに活用させていただく予定で勧めている。

□ 委員からの意見

- ・さびしさが見えてくる。先生方が頑張ってきた歴史が刻まれていると感じる。

◆ 令和6年度学校教育自己診断実施について

- ・ アンケートは3年生が21日の木曜日に実施、保護者の締め切りが来週の金曜日ということになっている。アンケートをしているところなのでアンケートの結果は出ていない。
- ・ 実施の方法は、生徒と教職員の方は、Googleフォームを用いて回答していただき、保護者の方には回答用紙として、マークシートのものをお渡しして封筒で回収している。
- ・ 評価の指標としては4段階あり、「よく当てはまる」から、「全く当てはまらない」まで4段階で評価
していただいている。全部で22項目になっている。
- ・ 今年は8番の項目で体育コースの文言があったが、体育コースの選択がなくなったこともあり体育コースの文言を削除させていただいている。
- ・ 集計結果の分析については、次回の学校運営協議会の方で報告させていただく。

□ 委員からの意見

- ・ 成績のつけ方が十分に示されているということだが観点別評価になったので、その評価方法について聞きたい。

→各教科の中で伝え方は様々あると思うが、全ての教科で統一してやっていることは答案用紙にどの観点を問う問題かということ必ず明記するようにしている。

◆ 令和7年度使用教科書選定について

- ・ 委員会に提出した選定理由書を付けている。
- ・ 教材の程度や分量が適切かや、発達段階に応じてはものであるか、公正な判断を伸ばすための配慮がされた教科書であるかとか、用いられている資料・素材が適切か、基本的人権について配慮されているかなどの観点で、各教科で検討いただいて決めている。
- ・ 学習の方も、表現が明確で学習に適しているか、生活との関連は適切か、態度・技能に対して適切か、表記・差し絵・図版等が適切か、自発的な学習に適切か、このような観点で選んでいただいている。
- ・ 選定経過の概要は見ていただいたとおりで、このような形で主に教科主任会議を中心に検討いただいて進めている。メンバーは教務主任と教科主任・首席で構成されている。
- ・ 夏ごろに採択した教科書であるが、来年度の選択科目の希望調査の結果、人数が集まらず開講するにはなかなか難しいという教科もある。今ここには載っているがなくなると教科書もこちらから出てくると考えられる。

□ 委員からの意見

→生徒の理解度なども考えて教科書なども選んでくださっているのかなと思うと、先生方の温かみを感じ

る。そのように教科書を選ばれているのは、中学校から見るととても羨ましい。このように先生方が今いる生徒の実態に合わせ、考えて、選んでおられるのだろうなということを考えると、とても適正な選定をなされているな、というふうに思った。

◆各分掌より

◇教務部より

- ・ 学習活動の状況について報告。今年度から基礎学力の定着をめざして朝学習を始めている。8時35分から10分間、ベネッセ社のマナトレという教材を使ってやっているが今現在2年生、3年生ともに非常に前向きに取り組んでいるように思う。2年生では朝早くから登校して自分でそのマナトレの教材を先に進め、もうすでに教材を終わらせてしまったという生徒も複数出てきている。そういった生徒には個別で「おかわりプリント」ということでプリントを配布して日々学習に取り組んでいる。
- ・ 基礎力診断テストで一定の結果が出たというところもあるが、年度末には認定テストというものも準備し、さらに基礎学力の向上を期待してこれからもやっていこうかと考えている。
- ・ 令和6年度授業改善プロジェクトチームを発足し、府の教育センターと連携してパッケージ研修を受けている。研究テーマを設定して授業改善を図っているが、それに伴う教員研修を今まで2回行った。日程が今のところ未定にはなっているが、3回目も校内研修を予定している、大阪府教育センターのカリキュラム開発部の指導主事の方に、授業づくりのポイントとなるような視点の講話もしていただいた。
- ・ 1回目の教員研修では、パッケージ研修の概要の周知や授業改善の目標を共有した。2回目の校内研修では、研究授業者の3名が決定したので、その取り組みの流れを確認した。国語、社会、数学から1名ずつ研究授業をこの10月・11月に行ってもらい、時間割なども調整して、全ての教員がどれかの授業を最低1つ見に行けるというような状況にして授業見学を行った。また、その授業後には研究協議もおこない、各教員とも非常に有意義で中身が詰まった会議になったということを知っている。今回のこの研修を通して、授業者も見学者も、今後の授業改善につながるような研修になっていると思っている。最後の3回目の校内研修では、各研究授業の研究協議の内容を全体で報告したり、全教員で共有するような時間を予定している。4月当初に生徒に自己評価アンケートということで実施しているの、2回目の自己評価アンケートをとって、この取り組みの前と後で生徒の意識がどのように変わったかというところを比較検討していく予定となっている。
- ・ 総合的な探究の時間、災害から身を守れという取り組みを今年度初めて行う。探究の時間で地域連携をできるという点と近年の災害の増大を受けて、自助・共助の意識や、それから地域の一員であるということ意識してもらうためにテーマを決定した。全8回で予定をしており、防災センターの方や美原区役所の方にも1回目にお越しいただき、美原区の防災や減災への取り組みについてをお話いただく。その現状も踏まえて、生徒たちが彼らの観点視点から新しいアイデアを考える取り組みとなっている。生徒には3つミッションを与え、その中から自分で興味のある分野について調べて深めていく予定。最後はそれらを発表させ、防災センターにも成果物があれば展示もしたいと考えている。

◇進路指導部より

- ・ この11月15日時点の資料となる。指定校推薦の合格者数が0名となっているが、15日から1人増えている。

- ・ 傾向としては、例年、経済系を学ぶ生徒が学びたいという生徒が多かったが国際系も少し増えた。
- ・ 専門学校の方も例年情報系が多い。
- ・ 就職に関して昨年度はかなり割合が多かったので、昨年度比でいうと若干減った。

◇保健部より

- ・ 今年度、各検診順調に進んでいる。生徒数も少なくなってきたので、かかる時間も少なくなっている傾向。
 - ・ 歯科検診は毎月昼休みに対象者を順番に呼んで行っており、虫歯が進んでいたり、歯を抜かないといけないほどになっていたり、前回の検診の時よりも症状が悪化している生徒を呼び、歯医者に 行くように促している。
 - ・ 熱中症予防講習について。運動部を対象にしていた年もあったが、運動部の生徒も少なくなってきた。しかし、異様な暑さが続いたりしているので、全生徒対象に予防講習という形で動画視聴、それから資料の配布として促している。
 - ・ 救命講習会について教職員対象に講習を行った。
 - ・ 性に関する講演会について。外部講師招いて施している。人間関係の付き合い方が苦手な生徒もいるので、異性とどのように接していけば良いかとか、そういったところをカードを使ったり、グループワークでコミュニケーションを取りながら進めていく形をとった。グループワークの中で、他の価値観を持っている生徒がいるというようなところも共有しながら進められる内容にさせていただいた。
 - ・ 避難訓練について。地震と火災について実施させていただいた。6月少し暑かったが災害の時は暑さを我慢してでも動かなければならないということで、グラウンドで避難させた後、クイズを行い、答えの場所に移動するような活動をした。実際に動くことで生徒も身に染みて分かるのではないか、というところで少し動くような形で実施させていただいた。先日、火災に関する訓練が終わったが、今回は教室で二択のクイズをしたりして生徒が簡単に答えて答え合わせをして、という形ですぐフィードバックができる形で行った。
 - ・ 最後に美原高校付近の地図を描くというところも課題にした。あまり時間を割けなかったので、来年度改めてやっっていこうかと思っているところだ。学校の周りに実際に災害が起こったときにコンビニやスーパー、病院、ガソリンスタンドなど、こういったものが学校の周りにどこにあるかという位置関係を地図の中に示しましょうというような課題だった。生徒の認識にもばらつきがあるなと感じた。最終的には自宅の周りにこういったものがどこにあるかというのをイメージできるかというところにも着地させたいと思っている。
 - ・ 3年生の保健委員が環境衛生検査を実施した。武庫川女子大学の生徒さんも一緒に薬剤師の湯本先生と一緒にやらせていただいた。生徒に白衣を貸して実施した。白衣を着て実際に触れたことのないものに触れて生徒は生き生きしていた。これは3年生だけの実施になったので、今の2年生が新3年生になった時にまた実施していきたいと思っている。
 - ・ 前年度消火器を実際にレンタルして消火器を運んでもらってピン抜いてやるとかもやっていたりした。引き継いで、できるだけ内容が重複しないように少しずつマイナーチェンジしながらやっている。
- 委員からの意見
- ・ コロナが流行った時に学級閉鎖、学校閉鎖になったと思うがその後の後遺症の症状を実際に感じている

生徒はいるのか。何か困っていることはないか。

→症状を抱えて困っているなどは生徒からは今のところ報告が上がっていない。ただ、実生活や学校生活において支障が出たときには、随時必要な対応は取らないといけないと思っている。

◆その他

□ 委員からの意見

・大学入試において、指定校推薦でこれだけの数があるのはかなりの安心だと思う。受験生の方が、受ける前とかに知っていたら高い割合である程度の確保できるのはありがたい。

・就職なども学校紹介とかであったりしますか？

→新たな開拓というよりも、もうずっと長年お付き合いのある地元の企業がたくさんあるので、そういったところを中心に継続して美原高校に求人を出していただいている。

・長年の信頼関係ができてから、それも非常にありがたい。大学を出てからでも就職先がなかなか確保できないこともあるので、本当に素晴らしい数字だなというふうに思った。

・閉校の取り組みとして校長中心に日本ハムファイターズの栗山英樹さんに、なんとか学校に来て講演いただけないか、ということでやり取りしていた。しかし、なかなかお時間を取ってきてもらうのが難しいということで栗山さんから美原高校に向けてビデオメッセージいただき文化祭で流した。

・来年度、万博には行くかどうか決まっているのか。その意思や中身についてもできる限り教えていただきたい。

→来年が3年生だけになってしまうので1学年だけの実施にはなるが、今のところは行く方向で考えている。4月にメディアで出てしまったこともあって、その中美原高校だけ行かないというのはなかなか厳しいのではないかなという感じもある。

やはり安全上の問題や、チケットのこと、交通手段のことなど様々なことが不透明になっているので、学年でも決めかねているところ。一度行くとはなって、日にちも決めたが、まだ保留というようなところである。

→今行くという話であれば、交通の問題や、入場券の問題、パビリオンの問題などある。また、安全性の問題も気になる。先生方がどう判断されているのか、それをちょっと聞きたいと思っていた。

・一番身近な先生方が決められるのがベストだと思うが、今の具体的に示せる方向があったら少しお聞きしたい。

・急遽もう来年3月でストップということもありえるってということですか？

→委員会から随時調査は来る。美原高校も4月に申し込みはしていて、日時も決まってはいるが、委員会としても絶対行きなさい、という通知は来ていない。下見ができるということもまだ言われていないため安全なのかなど見極めて決定するのは3月ギリギリぐらいまでなのか、と思っている。

・いろんな学校さんに聞いても行く学校と行かないと学校もあり、かなり迷われている。

美原高校から場所も遠いので、学校として行かないといけない生徒たちもいるのではないかな、なども踏まえて学年で議論している。

教育委員会から学校行事の一部で固定されているのではないかな？

→そういったことは特になく、学校行事の一部で固定されてしまうと制約になってしまうということを開く。安全性の問題などは会議の場で議論になっていて、さまざまな意見がある。

行くか、行かないかの判断はそれぞれの学校に委ねてもらっているから、特に学年の方に絶対行きなさいという話があったこともない。万が一のことがあれば先生方の管理も問われる部分があるから程度自信を持っていける、という部分での判断というのが大事だと思う。

・本当に生徒のことを思って次のことを考えていると、非常に安心して任せられるな、ということを感じた。最後なので思い出に残るような安心安全な最後の行事として、行かせてやりたいという思いもトータルで考えていただきたい。

・前回の学校運営協議会でもそうだったが、在学の生徒さんが減少されていると同時に先生の数もやはり少なくなっていると思う。その中でも冒頭の朝学習をされたり、偏差値が5上がったりなど、実績を残している。人数が少ないながらもこうして先生方が努力されて学校を支えていただいていると感じる。クレームや不満を言うような隙もなく非常によく頑張っているなということ、敬服や尊敬をするばかりだ。これからも引き続き健康に気をつけてほしい。人数が減ると一番何が気をつけなければいけないかといったやはり健康管理である。一人が病気にかかるとその他の方に負担がかかるものだから十分気をつけてしっかりやっていただけたらと思う。

・全体的に見て本当に生徒のことを思って、いろいろ考えてくださっている、というのがすごく分かった。このままずっと生徒は少なくなっていくが先生の愛情がいっぱい詰まっているのを生徒も分かっていて、それが全部評価に上がってきているような感じがする。このまま続けていっていただきたいと思う。

・偏差値が4.5上がるとか、アンケートの平均が3.54であるとかは、校長先生がおっしゃられたように、多分トップぐらいだと思う。日々の先生方の取り組みが生徒の意識の中に反映されていると思う。だから今やっておられること自体が一番いい思い出につながっていくのだろうと思う。最後の行事だけではなく

日々の取り組み、これは思い出として残してあげていただきたいと思う。

あとは閉校への取り組みについてははいよいよあと1年少しなのかというのを実感して寂しいなと思っている。

・11月2日の文化祭で、PTAとして駄菓子のお話の詰め合わせのセットを販売させてもらった。

その時に腕章をつけた多くの同窓会の方、お子様連れの方やご夫婦で来られている方ともおられた。美原高校への愛があふれていて、私も声をかけてもらったりしてすごくアットホームで、ありがたいと思う。先生にも本当に感謝している。

・皆さんから良いお話いただいて、先生方も通常授業に加えて閉校に向けての業務というところも増えて、大変なところだと思う。先生方が頑張ってくくださっているからこんなに評価が出て生徒たちもそれに応えて頑張ってくれていると感じる。それが数値に現れてきているのかな、というふうに感じた。

(4) 閉会挨拶 (校長)

本当にあと1年半を切ってしまったが、今教諭が19名である。来年はもっと減る。そんな中で、様々な課題を抱えた生徒もいる。そういった生徒にも手厚く支援していただいているというのが現状。その中であと1年半ということだが、本日温かい言葉をいただき、非常にこちらとしてはありがたいと思うとともに、また明日から頑張っていこうという勇気をいただけたかな、というふうに思っている。

また、第3回は2月に予定されている。また本日と同じように様々なご意見等をいただけたら、と思う。